

時間の有効活用と自立心を育むカリキュラム

～ 天童中部小学校令和5年度 新しい週日課の導入について～

予測の難しいこれからの時代を生きていく子供たちにとって、「時間を有効に使える」こと、「自主自立を育む」ことの2点は重要な意味を持っています。誰にも等しく与えられている時間を最大限に生かして、子供たち一人一人に『確かな学力』と『生きる力』を身に付けることができるカリキュラムを作り上げていきたいと考えました。そのために学校生活の基盤となる新しい週日課を導入し、時間の有効活用と子供たちの自主自立を育んでいきます。

ポイント① 時間の有効活用

- ・始業を早めることにより、放課後の時間にゆとりが生まれます。教職員に教材研究や事務処理の時間が保障され、確かな学力をつけることや授業の中での子どもの確かな見取りにつながっていきます。
- また、午前中を中心に授業をすることで子供たちも集中して学習に取り組むことができます。
- ・朝の会では健康観察など、10分で終わる内容にし、係活動などは、帰りの会や昼の放送などを利用したり、掲示板を活用したりするなどして、将来的に時間や空間を有効に活用できる力を付けていきます。
- ・月曜日、水曜日、(金曜日)は、原則として、放課後の活動を入れないようにし、各種研修会、教材研究の時間を確保。教職員の資質向上も図っていきます。

ポイント② 自主自立を育む

- ・帰宅時刻が早まることで、子供たちの多様な学びや活動を創出することができます。
- ・毎日の中間休みと週3回の昼休みを実施して、自分たちでくらしをつくる(学校生活を創造)ことができるようにします。
- ⇒ 火曜日と木曜日は昼休みの時間に清掃を実施。「清掃によって環境を整える」という意識から「使ったものは片づける」という、常に身の回りの整理整頓をすることへの意識へ。
- ⇒ 火曜日の6校時はクラブ活動や児童会中心に計画的に活動をする時間をあてる。
(クラブ活動、ミニ集会、委員会活動、児童会活動など)
- ・子供の自主自立を育む視点で、児童会や学級での係活動や学級活動を充実させていきます。

・毎日、朝活動(おたずね・フリートーク)を15分間行い、温かいつながりのある対話の時間を確保し、聞く力や話す力、表現力やコミュニケーション能力を育てていきます。

・5校時は基本的に4モジュール(60分授業)とし、児童の学力向上の時間として、学習活動の時間を十分に確保するとともに、スパイス問題やつまずき発見シートを計画的に取り入れ、子どもたちに確かな学力を付けていきます。

※左の週日課表は4・5・6年生の基本日課となります。1・2・3年生の週日課表については、各学年よりお示ししますので、特に、下校予定時刻をご確認ください。

※学童等の教育関係機関等にも、今年度中に学校より週日課の変更をお知らせします。

【令和5年度 週日課(4・5・6年生)】		改訂版				
		月	火	水	木	金
	8:10～8:20	朝の会(健康観察・連絡等)				
	8:20～8:35	(おたずね・フリートーク)15分				
1校時	8:35～9:20	3	3	3	3	3
		移動・準備(5分)				
2校時	9:25～10:10	3	3	3	3	3
	10:10～10:25	中間休み(15分)				
3校時	10:30～11:15	3	3	3	3	3
		移動・準備(5分)				
4校時	11:20～12:05	3	3	3	3	3
	給食	給食(準備12:05～12:25・食事12:25～12:45)				
		移動・準備(5分)				
星の会	12:50～13:05	昼休み	清掃	昼休み	昼休み	清掃
		移動・準備(5分)				
5校時	13:10～14:10	4	4(3)	4	4	4
	クラブ活動・委員会活動があるときは13:10～13:55		クラブ活動・委員会活動があるときは3Mとし、帰りの会をする。			
帰りの会	14:10～14:25	帰りの会(クラブ活動・委員会があるときは、13:55～14:10に帰りの会をする)				
6校時	14:25～15:10	3	3(4)	3	3	(3)
	クラブ・委員会		クラブ活動・委員会活動			
	14:10～15:10		4			
合計(M)		16	19	16	19	16(19)
下校予定時刻		14:35	15:20	14:35	15:20	14:35

※1M(モジュール)＝15分

○「おたずね・フリートーク」を15分確保し、温かいつながりのある対話の時間を確保する。